



コンタクトプレーを 正しく見極める

～ハードプレーとラフプレーの整理から～



コンタクトプレーを正しく 見極めるために



「ハードプレーとラフプレーの見極め」

ハンドボールの競技特性

⇒ 激しいコンタクト
スピーディーなゲーム展開

<2019、2020、そしてその先・・・>

われわれレフェリーが、理解し、整理し、
解決していかなければならない課題



コンタクトプレーを正しく 見極めるために



「ハードプレーとラフプレーの見極め」

競技規則第8条「相手に対する動作」

⇒ 攻撃側、防御側の**双方**にあてはまる

<身体接触の際>

- ◆ 両者の**位置関係**
- ◆ 違反を受けたプレーヤーへの**影響**

競技規則 8 : 1 (a) ~ (c)



次の行為は許される

- (a) 他のプレイヤーの手からボールを取るために、開いた片手を使うこと
- (b) 相手の身体に接触し、そのまま相手の動きに合わせてついていくために、**曲げた腕**を使うこと
- (c) 位置取りをめぐり、相手をブロックするために**胴体**を使うこと

ハードプレーとラフプレーの見極め (防御プレイヤーの位置と防御行為)

防御行為の **ハードプレー** とは・・・

- ◆ 攻撃プレイヤーの正面
- ◆ 競技規則 8 : 1 の状況
- ◆ 相手の安全面を守る



接触の度合いが強かったとしても
ハードプレーとして認める。



ハードプレーとラフプレーの見極め (レフェリングの際の**ポイント**)

【 大切な判断基準（事実判定の根拠） 】

① **ボディコントロール**は？

・・・シュートを**打ち切ったか**どうか

DFと**接触**していても

② プレーヤーの**影響**は？

・・・動けない（すぐに帰陣できない）ほどの**影響**があるのか

③ **ボール**に対するプレー？

シュートを**外**しても



ハードプレーとラフプレーの見極め (レフェリングの際の**ポイント**)

もしも、ボディーコントロールを
失わずにプレーできているならば・・・

◆ スピーディーなゲーム展開を重視

◆ 安易に競技を**中断**しない

7m スローの判定や
罰則の適用 などにより

ハンドボールの**面白さ**を表現する

どの罰則を適用するかについての判断基準 (8 : 3)



- a) 違反行為をしたプレイヤーの **位置**
・ ・ 相手に対して、正面？側面？後方？
- b) 違反行為が対象とした **身体の部位**
・ ・ 胴体？シュートしている腕？脚？頭部？喉？首？
- c) 違反行為の **激しさの程度**
・ ・ 接触の強度は？相手の動きの速さは？
- d) 違反行為の **影響**



ハードプレーとラフプレーの見極め (防御プレイヤーの位置と防御行為)

- ◆ ボールを対象としていない
 - ◆ 不利な位置から接触を試みた
- ⇒ **ラフプレー** として判定
(競技規則 8 : 2、 8 : 3)

横から

後ろから



コンタクトプレーを正しく
見極めるために



「ハードプレーとラフプレーの見極め」

ハンドボール競技 ⇒ 戦いの競技
コンタクトの発生は必然的

<2019、2020、そしてその先・・・>
コンタクトプレーの中で、世界と
戦っていくために “指導” “強化”
していくことが重要である



これからのレフェリーの役割



- ◆世界の流れ
⇒ スピーディーなゲーム展開
- ◆競技規則 8 : 3 ⇒ **判断基準**
・ ・ ・ **機械的に判定**
- ◆プレーを**正確に観察できる**良い位置

これからのレフェリーの役割 ～前半のうちに基準（許容範囲）を示す～

前半のうちに

インフォメーション

ボディランゲージ

段階的罰則

基準（許容範囲）を
伝えていく

⇒ 後半に罰則を適用する必要がないようにする
（もちろん罰則を適用する「準備」は必要）



これからのレフェリーの役割 ～一試合を通して～



60分の中で

起きた現象
プレーの質

良いプレーを保証し
悪いプレーを排除する

違反を受けたプレーヤーへの影響を見極め
罰則を適用するかどうかの判断をする

レフェリーの使命



チーム・プレイヤーは日々、トレーニングしている。レフェリーの使命は

トレーニングの成果を存分に発揮させる

ことである。この使命を果たすために、身体的、精神的、競技規則の理解、映像分析、 etc. 大会やゲームに臨むため、そして、大会期間中、ゲーム直前…日々「準備」しなければならない。



ハンドボールの発展のために 皆でトレーニングを積む

Team JAPAN として2019年、2020年、
そしてその先と…



レフェリー × 指導 × 強化 =

「スピードハンドボール」

「パワーハンドボール」



の追求と発展を共に求めていかなければならない。

Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission

